

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
東北電子専門学校	昭和51年3月31日	吉田 博志	〒980-0013 仙台市青葉区花京院一丁目3番1号 (電話) 022-224-6501			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人日本コンピュータ学園	昭和61年10月22日	理事長 持丸 寛一郎	〒980-0013 仙台市青葉区花京院一丁目3番1号 (電話) 022-224-6501			
目 的	組込み業界で活躍するために必要な実践的かつ専門的なスキルおよびヒューマンスキルの高い組込みシステムエンジニアを育成する。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	組込みソフトウェアエンジニア科	2年(昼)	2052単位時間 (又は単位)	平成29年 文部科学省告示 第30号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1396.5単位時間 (又は単位)	28.5単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	769.5単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	19人	2人	3人	5人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有) 無) ■成績評価の基準・方法について 定期試験・レポートおよび授業に取組む姿勢をもとに評価	
長期休み	■学年始め：4月1日～4月7日 ■夏 季：7月24日～8月23日 ■冬 季：12月24日～1月7日 ■学 年 末：3月20日～3月31日			卒業・進級条件	年間800時間以上履修しており2年間で1700時間以上履修していること、かつ履修すべき全科目の評定が合格していること	
生徒指導	■クラス担任制 (有) 無) ■長期欠席者への指導等の対応 担任及び学生サポート室を中心に指導			課外活動	■課外活動の種類 スポーツ大会等 ■サークル活動 (有) 無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 製造系組込み業界 ■就職率 ^{※1} 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} 100% (平成28年度卒業者に関する平成29年4月1日時点の情報)			主な資格・検定	ETEC クラス2 画像処理エンジニア ベーシック	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成28年4月1日在学者 17名（平成28年4月入学者を含む） 平成29年3月31日在学者 17名（平成29年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 なし</p> <p>■中退防止のための取組 担任及び学生サポート室を中心としたフォローおよびカウンセリング メンタルヘルズ講座</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.jc-21.ac.jp</p>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本科の教育課程の編成においては、組込みシステム開発について知見のある企業、業界団体などが委員として参画する「教育課程編成委員会（組込み分野）」を設置し、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するための教育課程の編成について組織的に取り組み、実践的職業教育の質を確保する。委員会では、業界の人材の専門性に関する動向、地域の産業振興の方向性、今後必要となる知識や技術などを分析し、実践的職業教育に必要な授業科目の開設や授業方法の改善の提案を行い、企業等の要請を十分に生かした教育課程の編成に資する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年4月1日現在

名 前	所 属
小野 仁	宮城県産業技術総合センター
鈴木 伸輔	創造技研株式会社
坂藤 健	東北電子専門学校 教務主任
吉澤 毅	東北電子専門学校 教務課長
阿保 隆徳	東北電子専門学校 学科主任

(開催日時)

第1回 平成28年9月30日 16:00～17:15

第2回 平成29年3月24日 16:00～17:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実践的かつ専門的な能力を育成するために、企業等と組織的な連携を取った実習が重要と考えている。連携するにあたっては、知識・技術の学修に加えて、実務を遂行するに必要なヒューマンスキルや仕事に対する意識・姿勢への「気づき」を得ることも重視する。

また、企業の選定にあたっては、実践的なアドバイスを受けて必要なスキルが修得できるように、現役のシステムエンジニアを派遣でき、その指定施設で実習・演習の指導ができることを要件とする。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ソフトウェア概論	効率的で拡張性の高いプログラムの作成法（構造化プログラミング）についての講義と実習をする。システム開発の限られた時間内に成果を出すためコーディングやテスト等の知識・技術について学修しながら、業務の基本的な姿勢である意思表示、報告義務を認識させる。企業の第一線で活躍しているエンジニアの講師の指導の下、実務に則した実習・演習を行う。	創造技研株式会社 カスタムシステム株式会社

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

学校は、教員に対する研修の必要性を把握し、その必要性に応じて研修計画を策定し、計画に基づいて研修を実施する。その内容として、専攻分野の実務に関する知識や技術及び授業や生徒に対する指導力等を修得させ、教員の能力及び資質等の向上を図る。必要な場合は、他の機関や企業等と共同して又は外部の機関に委託して研修を行うことがある。

これらについては、「学校法人日本コンピュータ学園 教員研修規定」に定めており、この規定に基づいて研修を実施している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年4月1日現在

名 前	所 属
小野 仁	宮城県産業技術総合センター
川島 健太郎	株式会社ヒノタマ
菊田 正信	東北管理株式会社 (卒業生)
栗原 憲昭	株式会社盛総合設計
佐藤 浩之	株式会社アルゴグラフィックス
佐藤 富士夫	宮城県電気工事工業組合
柴森 則夫	株式会社ミヤギテレビサービス
庄司 直人	株式会社リード・サイン
関口 靖志	株式会社ヤマハミュージックリテイリング
角田 透	株式会社JC-21教育センター
手島 幸治	リコージャパン株式会社
河原 薫	株式会社舞台ファーム
西村 宜起	東北芸術工科大学
早川 智子	株式会社メンバーズ

(学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページにおいて公表する。

URL: <http://www.jc-21.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページ及び広報誌等において公表する。

URL: <http://www.jc-21.ac.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程組込みソフトウェア科) 平成29年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			就職対策 I	一般常識科目の演習・就職指導を行う。 ビジネス能力検定 2・3 級の対策授業を通して、ビジネスマナー・ビジネス文書の基本を身につける。	1 通	57		○		
○			英語 I	近年、インターネット等の情報のグローバル化に伴い、多くの英語による情報が簡単に入手閲覧可能となった、これら英文による情報を利用する為の技術として、英文読解に必要な英文法等を習得する事を目指す。	1 通	57		○		
○			ハードウェア概論	I T パスポート試験・基本情報技術者試験・応用情報技術者試験の出題範囲のうちハードウェアに関する事、エンドユーザコンピューティングに関する事、コンピュータサイエンスに関する事を基本から学習する。	1 前	114		○		
○			ソフトウェア概論	E T E C 試験の出題範囲のうちソフトウェアに関する事を基本から学習します。	1 前	114		○	△	△
○			アルゴリズム	I T パスポート試験・基本情報技術者試験・応用情報技術者試験の出題範囲のうちデータ構造に関する事、アルゴリズムに関する事を基本から学習する。 プログラマ・システムエンジニアとして必須の技術であるロジック構築能力の基本を身につける。	1 前	114		○	△	△
○			情報リテラシー	I T パスポート試験・基本情報技術者試験の出題範囲のうち表計算ソフトに関する事を基本から学習する。 情報倫理やネチケットなどのリテラシー教育を行う。 O f f i c e の基本的な操作実習を行う。	1 通	57		○		△

○		エレクトロニクス	<p>a. 電気の基礎 電気に関する基礎知識を学習し、電圧・電流・抵抗の基本要素の関係をオームの法則として理解し、直流回路における各要素の役割を理解する。</p> <p>b. 電力と電気抵抗 電気に関するエネルギーを理解し熱エネルギーと電気エネルギーの関係を理解して、導電材料や、直流回路における各要素の役割を理解する。</p> <p>c. 磁気：コイルと磁界の関係、フレミングの法則を学習し、発電機とモーターの原理を理解する。更に、電磁誘導作用の効果を学習し、変圧や誘導起電力の作用を理解する。</p> <p>d. 静電気：静電作用のクーロンの法則を学習し、電界及び電束密度を理解して電界強度等の計算ができるようにする。また、車載用コンデンサの特性及び、容量計算を学習する。</p> <p>e. 交流回路：あらゆる信号の基本となっている正弦波の特性を学習し、その計算方法を理解する。 また、共振現象に関する特性及びリアクタンス等の計算を理解する。</p> <p>f. 半導体：半導体の基本特性を学習し、ダイオード及びトランジスタの静特性とその動作原理を理解する。また、車載用パワー半導体の特性と利用法を理解する。</p> <p>g. バッテリー：ハイブリットカーに欠かせないバッテリーや燃料電池の種類や特性を理解する。</p> <p>h. EMC：自動車の安全性に欠かせないEMC(ノイズ)対策についての規格種類や特性などを学習し、代表的な対処法を理解する。</p>	1 前	85.5	○	△	
○		構造工学概論・機能／構造	自動車を構成する部品の構造や原理・機能に関する基礎知識と技術革新の動向を学び、自動車の基本機能がどのように実現されているかを学ぶ。	1 後	114	○	△	
○		プログラミング技術 I	<ul style="list-style-type: none"> ・C言語に関する基礎的な文法、命令を習得する。 ・C言語を基に、効率的で拡張性の高い構造化プログラミング技術を習得する。 ・実業務で使用される統合開発環境での開発手法を習得する。 	1 後	171	○	△	△

○			デジタル回路Ⅰ	デジタル回路の基礎である論理回路の設計手法を実習を交えて段階的に学習する。 ・基本ゲート (AND・OR・NOT・NAND・NOR・EX-OR) ・組合せ論理回路 (エンコーダ・デコーダ)	1 後	57		○	△	△
○			メカトロニクスⅠ	マイコン制御の基礎を学習し、センサ・アクチュエータなどの要素技術を学習する。 更に、マイコンによる制御を各要素技術を基に应用する技術を学習する。	1 後	85.5		△	△	○
○			英語Ⅱ	・エンベデッド技術で使用する多くのデバイスでは、その仕様書や取扱説明書が英語の資料の場合が多い、また先端技術分野における論文のほとんどは英文である。これらの資料や論文を活用するには専門用語と共に英語の読解力が必要である。本科目では一般の英語読解力を、専門用語を加えることで更に、技術分野での応用力を高めるものである。	2 通	57		○		
○			デジタル回路Ⅱ	最新のデジタル回路設計手法である HDL を、実習を交えて応用的に学習する。 ・記憶の原理 ・HDLの基本文法 ・順序論理回路 (カウンタ・レジスタ) ・総合応用回路 (PWM制御・超音波センサ制御)	2 前	85.5		○	△	△
○			メカトロニクスⅡ	マイコン制御の基礎を学習し、センサ・アクチュエータなどの要素技術を学習する。 更に、マイコンによる制御を各要素技術を基に应用する技術を学習する。 ・アクチュエーターの基礎 ・DC/AC各種モーター	2 前	85.5		△	△	○
○			リアルタイムOS	TOPPERS/ATK1 の特徴や仕組みの理解し、スケジューリング方式、コンフォーマクラス、イベント、アラーム、リソース、フックルーチン等のOSの機能をデバイスドライバを利用しながら使用方法を学習する。	2 後	57		○	△	△
○			組込み画像処理	・デジタルカメラモデル、デジタル画像 ・画素毎の濃淡変換 ・フィルタリング処理、幾何学的変換、2値化、特徴点抽出、移動物体検出等	2 前	57		○		

○		モデルベース開発	<p>a. モデルベース開発の基礎：モデルベース開発の特徴・設計開発環境の概要を理解し、それを踏まえた制御系設計・開発手法について学ぶ。</p> <p>b. MATLAB：モデルベース開発に於いて、仮想の環境を作り出すシミュレーションツールとして主に使用されているMATLAB/Simulinkの使用方法について学ぶ。</p> <p>c. 応用技術：モデルベース開発を使用している事例を検討・学習し、その機能の一部をMATLABを使用して実際に設計・開発を行ってみる。</p>	2 前	57	○	△		
○		組み込み応用システム	<p>・マイコンのアーキテクチャを学び、システムとして利用するためのハードウェア及びソフトウェアに関する知識を習得する。</p> <p>・マイコンシステムを応用したセンサやアクチュエータを学び、その設計方法を学習する。</p> <p>マイコン応用システムで得た開発技術に加え、FPGA等の開発手法として、VerilogHDLを学習し、自動車組み込みシステムとしての制御技術を幅広く習得する。</p>	2 後	171	△	△	○	
○		プログラミング技術Ⅱ	<p>オブジェクト指向プログラミング言語として、近年急速に普及しているJava言語について、一般的なアプリケーションから組み込みシステム用アプリケーションまで幅広く学習する。</p> <p>・オブジェクト指向</p> <p>・Java言語</p> <p>・組み込みJava (leJOS EV3)</p>	2 通	171	△	△	○	
○		組み込みネットワーク概論	<p>a. 車載ネットワーク概論：自動車技術進歩の歴史や、車載ネットワーク技術登場の背景を学び、車載ネットワークの必要性を理解する。</p> <p>b. LIN：LINの特徴や用途を学習し、LINにより構築されたネットワークのハードウェア構成や、LINのプロトコルを理解する。</p> <p>c. CAN：CANの特徴や用途を学習し、CANにより構築されたネットワークのハードウェア構成や、CANのプロトコルを理解する。また、LINとの違いについても学習する。</p> <p>d. その他のネットワーク：車載ネットワークには「制御系」と「情報系」があり、</p>	2 後	171	△	△	○	

				制御系はさらに「パートレイン系」、「シャーシ系」、「ボディ系」に大別される。これらは用途ごとに、さまざまな規格があり、それぞれに特徴が異なっている。これらの違いや長所・短所などを学習する。						
○			3D-CAD	<ul style="list-style-type: none"> ・CADの基本操作 ・プロファイルと曲線（2次元） ・ソリッドモデリングの基礎 ・曲面の基礎 ・データ管理 	2 前	57		○	△	△
		○	ボランティア活動	校内外におけるボランティア活動を行います。	1 後 2 後	28.5		△		○
		○	CG アプリケーション入門	3次元 CG の初歩的な制作方法を学びます。	1 後 2 後	28.5		△		○
		○	英会話基礎	日常英会話の基礎を学びます。	1 後 2 後	28.5		○		
		○	コミュニケーションスキル講座	円滑な対人関係、組織の活性化、および、良いコミュニケーションに必要な「話す」「聞く」といった知識と能力を身に着ける。	1 後 2 後	28.5		△		○
		○	就職作文対策	就職試験で出題されることが多い作文について、基礎的な書き方やコツなどを学びます。	1 後 2 後	28.5				○
		○	経営とビジネス	技術者にも必要な会社における会計の基本と経営との関係について学びます。	1 後 2 後	28.5		○		
		○	実践カラーコーディネート	配色調和、色彩心理などカラーコーディネートの知識を基に、対象別の実践的配色技法を習得します。	1 後 2 後	28.5		○		△
合計					22科目	2052単位時間(単位)